



東台福浦小学校

開校記念講演・茶摘み体験

〈開校記念講演〉

本校の開校記念日は5月1日。今年で24回目の誕生日を迎えました。

それに先立ち、4月30日(金)、開校記念講演が行われました。「地域で輝く人」をテーマに今年度の講師は、絵本作家で保護者でもある杉山千帆さん。『子どものころの夢をかなえる』という演題でお話いただきました。今でも大事にされている小学生のころのノートを提示しながら、当時の先生とのやりとりが励みになった



ことや1冊の絵本ができるまでの出版社の方との厳しい交渉の様子などをお話いただきました。「夢をかなえるには、決してあきらめないこと、ねばり強く頑張ること」の言葉が心に響きました。

最後に、ご自身が初めて出版された絵本「ちいさなほしのかげら」を朗読して講演は終了。

子どもたちの心にある将来への「夢」の実現に向けて、大きなエールを送っていただいた講演となりました。

〈茶摘み体験〉

八十八夜が過ぎた5月7日(金)、3・4年生とこだま級の児童が、曇り空ながら新緑の風の中、茶摘



み体験をしました。今年は4月の低温続きで茶葉の成長が危ぶまれましたが、ゴールデンウィークの好天で持ち直し、無事に茶摘みができました。多くの保護者の方にも参加していただき貴重な戦力として大活躍。

農業指導員さんや町の職員の方々から指導を受け、一人一人かごを手に新芽を丁寧に摘んでいきます。1時間もするとコンテナは一杯。気持ちのよい汗も一杯に。

摘んだお茶は「新茶ごはん」や「新茶ふりかけ」として給食のメニューに登場。香りと彩りを味わえる東台福浦小ならではの季節の給食の食材に変身します。



湯河原中学校

学校の活性化に向けて自治の力を

本年度、第1回目の生徒総会が4月28日(休)に行われました。

4月の生徒総会は、全校生徒が参加して、生徒会の方針や活動を定める大切な総会です。事前に議案書を配布し、各学級で話し合う時間をとりました。「生徒一人一人が考え、みんなで決める」場であることを意識させ、活発な討論の場として盛り上げていくこともねらいの一つにあります。議案書を受けて、各学級で「質疑」が行われ、総会で「討議」した後「決定」という手順をとることにより、物事が決まってく流れが少し再現できたのではないかと



思っています。

議事に入り、本部より生徒会のめざす姿とキャンペーン活動、ボランティア活動、募金活動などの活動計画や意気込みが示されました。決算報告と本年度予算案に続いて、各専門委員長から前期の取り組み、活動にける意気込みが熱っぽく語られました。議長の人たちが、テキパキと議事を進行し、全ての提案が承認されました。新会員である1年生からも、初めてのことで分からないことなど質問がありましたが、生徒総会に参加し、活動方針、活動計画、予算などを審議することによって、生徒会の仕組みが分かったのではないのでしょうか。

良識ある公民としての資質を培うためには、自主的、自発的な基



本線の上を歩く、自治活動としての生徒会の育成と実践は、今日の教育の大きな役割でもあります。本総会では、冒頭に本部からマンスリーアンケートの説明がありました。学級からの要望をアンケートとして月1回募集をし、出されたものを評議員会で話し合い、可決された案は「きまり検討委員会」で話し合われ、要望の実現ができるというものです。生徒の自治の力を育み、自分たちの手で、「新生湯中」を作っていく(創造していく)ことは、生徒会の目指すものの一つだと考えています。学校をより活性化させていくためにも一人一人が生徒会活動に積極的に参加して、実りのある生徒会を築いていって欲しいものです。